トリセツデータナビ

ご利用案内

トリセツデータナビは、取扱説明書を制作したり、維持管理する事業者を支援することを目的として、JTDNA(※1）の認定事業者（※2）が、クラウドコンピューティング（※3）により連携し運営しています。
事業母体は TDN インターナショナル株式会社（※4）で、システムにはビジネスモデル特許（※5）を、成果物には複数の著作権などで１０年間のデータ保管管理を行っています。平成 14 年から試験運用を開始し、既にこのシステムを利用し制作コスト、制作環境の変動リスクを低減し、安定した環境を維持しています。詳細などは下記の認定事業者にお問い合わせください。

用語解説

※1　NPO 法人日本テクニカルデザイナーズ協会の略称
※2　第三者などで編成された JTDNA の認定委員会にて承認された事業者
※3　インターネット上の用語で、「クラウドコンピューティング（英：cloud computing）とは、ネットワーク、特にインターネットをベースとしたコンピュータの利用形態である。ユーザーはコンピュータ処理をネットワーク経由で、サービスとして利用する。(wikipedia より）
※4　PL 対策ソリューションを専門とするデザインコンサルティング会社で、このシステム運営責任主体
※5　制作コスト低減と制作キャパシティの対応力を上げるための取説データナビの根幹システムの特許で、特許第 4737916 号（平成 23 年 5 月 13 日取得）

JTDNA 認定事業者一覧

【首都圏】　TDN インターナショナル株式会社　〒171-0013　東京都板橋区氷川町 47-1-001
電話・FAX　03-3962-5515
【東日本】　有限会社祥和舎　〒982-0823　宮城県仙台市太白区恵和町 35-28
電話　022-247-8041FAX 022-247-8042
【西日本】　有限会社 JIBURU 〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-5-3 第 5 新興ビル 504 号
電話　06-6354-1605 / FAX 06-6537-1828
【中越】　三条印刷株式会社〒955-0072 新潟県三条市元町９－３
電話　0256-32-2281　FAX 0256-32-2670

www.tdn-japan.com

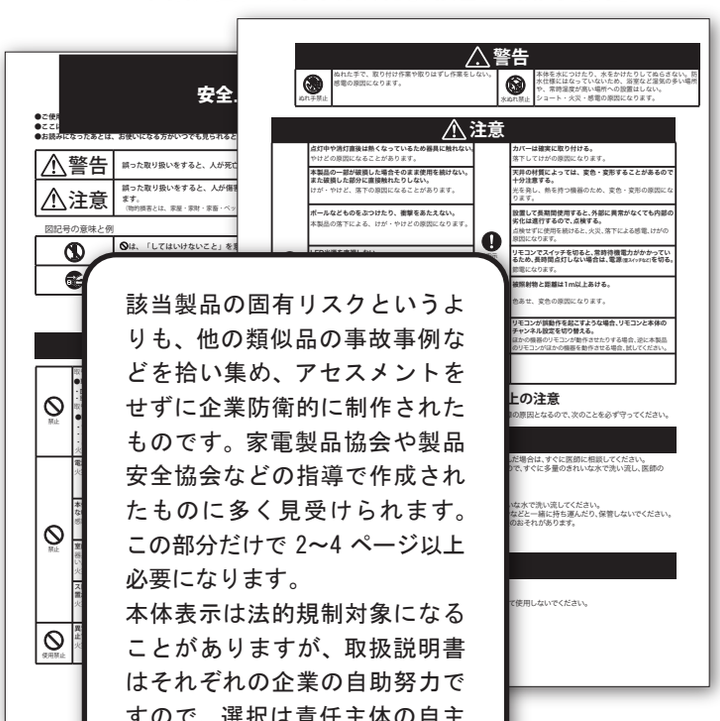
トリセツデータナビで対応させていただけるサービス内容は下記の通りです。

①現在の取扱説明書の無料検証（JTDNA の検証プログラムを基本にしています）
②その検証に基づいた有料検証（JTDNA のガイドラインに則った改善のためのアドバイス）
③検証プログラム 85 ポイント以上を達成するためのデータ制作受託
④新規製品のための取扱説明書の制作受託
⑤現在の取扱説明書のデータや今後制作されるデータの保管管理
⑥JTDNA の検証結果の証明書、証明印（エビデンスコード）の取得（有料）

- ●当システムで受付をされると、地域担当の認定事業者がご相談に対応いたします。
- ●上記の内容を参考に、ご相談内容をお知らせください。
- ●ご利用料については２ページの料金表をご参照ください。制作や書き換えなどの費用は、６ページの想定ページ数も参考にしてください。特に業務用目的､一般的でない構造や使用方法などのものは、制作費用などについて、協議させていただきます。
- ●JTDNA の取扱説明書ガイドラインを基準にして内容を構成しますが、クライアント様の所属する業界団体（例えば家電製品協会や製品安全協会など）の指定する表示方法をご希望の場合は、その旨を申し出ください。その場合に於いても、そのガイドラインなどの内容不整合（自己矛盾を起こしている項目など）を当方よりご案内しますので、社内で十分に確認され、制作がスムーズに行われるようご協力ください。選択事例を下記に示します。

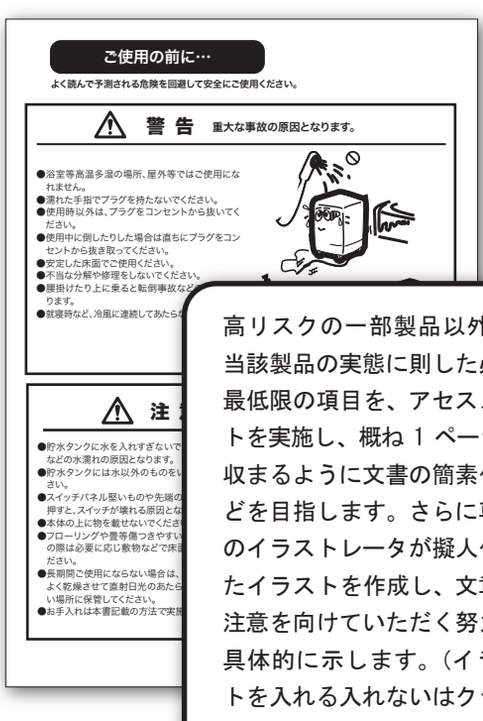
①注意喚起の項目（危険の洗い出し）※挿入か所についても選択項目です。

【古い業界団体などの指導による過剰反応のもの】



該当製品の固有リスクというよりも、他の類似品の事故事例などを拾い集め、アセスメントをせずに企業防衛的に制作されたものです。家電製品協会や製品安全協会などの指導で作成されたものに多く見受けられます。この部分だけで 2~4 ページ以上必要になります。
本体表示は法的規制対象になることがありますが、取扱説明書はそれぞれの企業の自助努力ですので、選択は責任主体の自主的判断です。

【JTDNA のガイドラインに則ったもの)】



高リスクの一部製品以外は、当該製品の実態に則した必要最低限の項目を、アセスメントを実施し、概ね 1 ページに収まるように文書の簡素化などを目指します。さらに専門のイラストレータが擬人化したイラストを作成し、文章に注意を向けていただく努力を具体的に示します。（イラストを入れる入れないはクライアント選択項目です）

②その他、保証規定など
保証書としての表示（例えば保証対象が意図する項目などについて消費者契約法などに反する内容）のままにするか、保証規定として制作するかなどです。

ご利用料金表

■現在の取扱説明書の見直し

まず取扱説明書の検証を受けてください。

ご案内は　[検索→JTDNA] より【検証・ご相談はこちらから】

①無料検証（評価グラフのみ）

②有料検証（1 件につき JTDNA 賛助会員 5,250 円、その他 10,500 円）

ご不明の場合は、地域担当の PL アドバイザー、テクニカル（JTDNA の資格取得者）がお手伝いをいたしますのでお申し付けください。（無料）

■新規制作、データ校正（書き換え）費用（ページ単価）消費税込み

検証結果 85 ポイント以上	10,800 円（大幅な変更の場合は別途取材費用など加算・賛助会員のみ）
検証結果 75 ポイント以上	一般 32,400 円（大幅な変更の場合は取材費用など別途加算） 賛助会員 27,000 円（大幅な変更の場合は取材費用など別途加算）
検証結果 50 ポイント以上	43,200 円（取材打ち合わせ費用別途加算 15,750 円～）
新規・検証結果 50 ポイント以下	54,000 円（取材打ち合わせ費用別途加算 26,250 円～）

※賛助会員：　JTDNA の法人会員です。詳しくは JTDNA のホームページをご参照ください。

①取材費用は案件内容、クライアント様の場所、持ち込み説明などをしていただけるなどを考慮させて割引などの検討をさせていただきます。

②12 ページ以上の場合は取材費用は遠方、特殊なケースを除き値引き対象となります。

③製品を持ち込まれる場合は一人で移動可能なもので、場合により分解などを行ったり、実際に使用したりします。キズや梱包などについて受け入れ時の状態を維持できないことをご了承ください。（取扱説明書がある場合は通常は現品不要です）

④上記 50 ポイント以上の費用と制作期間は Adobe CS 環境（DTP フォントのアウトライン処理の無い Mac ai データもしくはaiに書き換え可能なPDF）データ入稿の場合です。よって、検証結果が50ポイント以上でも、制作負担の多い場合は、製作期間の影響や追加費用の発生する場合があります。

⑤文字データやベクトル（ai）のイラストデータなどの無い場合は、取材などにご協力をお願いします。

⑥総ページ数 24 ページもので制作に要する日数は、取材終了後概ね２週間を目安にしていますが、途中、初回校正と第２校正にて修正内容や校正戻りが３日を超える場合は３週間以上要します。

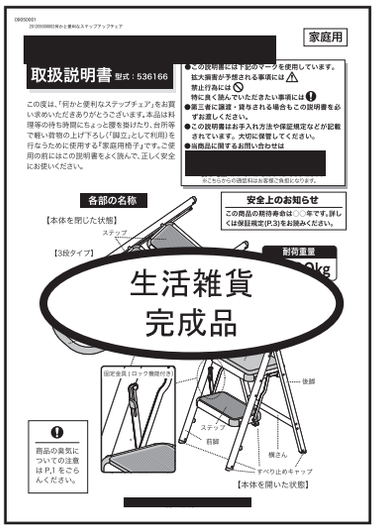
⑦作業受託に際しては、重要事項確認書をご提出いただきます。特に、編集著作権（4~5 ページに記載）など、長期的にデータを管理、修正対応などを行うために必要な条件について良くご確認ください。

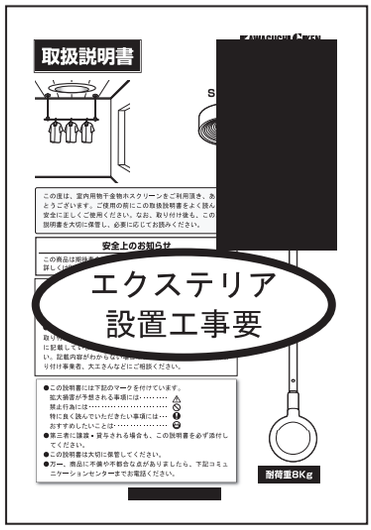
⑧第２校正修正完了にて校了とし、納品請求をさせていただきます。その後、３ヶ月以内に３回まで、修正（文字修正など）を無料で対応いたしますが、レイアウトの変更、新規イラストの追加などは都度内容に応じて料金が発生します。

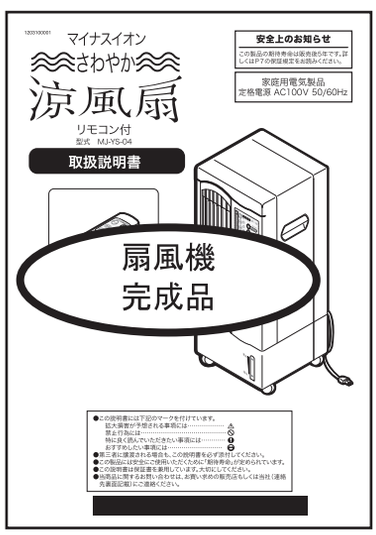
⑨校了後、もしくは制作開始よりクライアント都合で制作遅延する場合などにおいても、下請法にて定められている通り、作業開始から 60 日以内に当社指定の銀行口座にお振込みください。いかなる場合も 61 日以上の支払い条件ではお引き受けできません。（ページ数の多いものなどは分納することもあります）

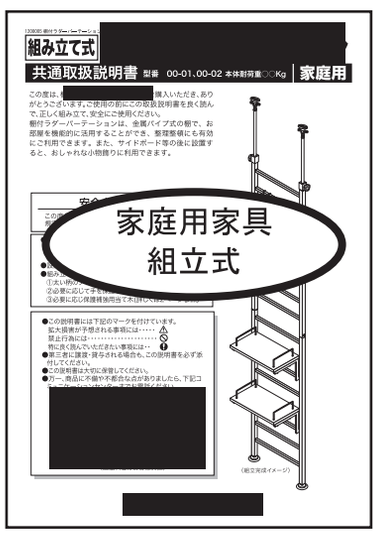
制作に関しては、クライアント様のご意向に極力対応させていただきますので、ご要望などを十分にお打ち合わせさせてください。

制作事例









特にジャンルは問いません。家庭用雑貨から複雑な組立式家具、簡単な電気製品から設置工事の必要なもの、また、業務用などもお引き受けしています。薬事法に抵触する恐れのあるもの、優良誤認などの恐れのあるものなどのチェックもお任せください。

当社の取扱説明書に関する知的財産権について

１．産業財産権について

当社の制作する取扱説明書は、制作コスト削減、制作受託総量の変動対応、制作期間短縮などを実現するためのクラウドコンピューティング環境にて行っています。このシステム環境（いわゆるビジネスモデル特許）については産業知的財産権として、当社代表　渡辺吉明が産業知的財産権者として平成 14 年に特許を出願し、平成 23 年８月３日に特許を取得しています。（特許第 4737916 号）

２．著作権について

当社（TDN インターナショナル株式会社）の制作する取扱説明書に関しては、著作者人格権者（渡辺吉明）と契約を締結し、下記の通り適正に運用しています。

①取扱説明書ガイドライン、媒体検証ガイドライン PL 対策解説書及び検証プログラム
　占有実施権をＮＰＯ法人日本テクニカルデザイナーズ協会に許可しています。

②成果物（取扱説明書など）
　当社では成果物の品質を保つことと制作期間の短縮化などのために、平成１４年の当該事業開始時より著作者人格権者の作成したテンプレートをベースに制作しています。よって、これらをベースに制作される当社の成果物は、例外なく著作者人格権者の許諾を承認を得て複製権を (c)PROCONSULTS をフッダなどに表示し、著作権法第 12 条に基づき「編集著作物」とし、その成果物の利用を特定し許諾範囲でシステムを運用または利用する方々の権利保護を行っています。

３．編集著作物にすることによるクライアント様のメリット

この編集著作物とは、「素材を選択・配列することに創造性があれば対象となり、その行使権利を編集著作権といいます」となり、制作をした当社が著作者人格権者より利用実施権を得ていますので、実務上の権利者となります。この権利を当社が有することにより下記のメリットが生じます。

①過去に制作した複数の成果物を転記転用して制作期間やコスト低減
②常に最新の情報に更新したものが利用可能
③修正などの行う場合もお申し出だけで対応可能
④ホームページなどに利用する際も著作物使用届けにて無料で利用可能
⑤類似品などのトリセツ制作に利用しコスト低減が可能
⑥他人に模倣転用されることを法的に規制可能
⑦複雑な著作権や著作物管理の負担軽減など

クライアント様の最大のメリットは、製作期間の短縮と何よりも低コストで最新の情報を網羅し、特に消費者視点を検証可視化する JTDNA の検証プログラムでの評価 85 ポイント以上（ クライアント様の要望で採用する内容により下がることがあります）の取扱説明書のデータ作成がシステムにエントリーすることで実現します。
デジタルデータとして 10 年間の保管や昨今最も大きなリスクになっているリコール（自主回収）対策も組み込まれていますので、ますます強化される国の製品安全政策にも対応することができます。

尚、当社のテンプレートを利用せず、新たにクライアント様のオリジナルテンプレートや表示基準などを作成希望される場合は、著作物の扱い等を含め、著作者人格権者との交渉を行い、適正な契約を進めていくことも可能です。

すでにグローバル視点では、Apple vs SAMSUNG の事例など、この知的財産権の争いが台頭しています。日本国内では音楽著作権や図書出版物については著作権管理を行う団体組織が体系だっていますが、知的財産権研究者や弁理士などには当然の知識となっている「広告物､新聞､雑誌が編集著作物であり､取扱説明書もそれに属する」ということはあまり知られていません。
大量に製品を販売し、それに付属する取扱説明書について無断転記転用などの不法行為により著作者の権利侵害が発生しそれを訴求された場合、巨額の損害賠償金額になることが予想されます。

市場競争激化している中で製品安全対策を取り組んでも、このような顛末では保険適用もされず大変な損失になります。
このようなリスクもあらかじめこのトリセツデータナビをご利用いただくことで軽減されます。
ＪＴＤＮＡの検証プログラムの評価を伴った取扱説明書データ制作支援の仕組みをぜひご活用ください。

ページ数（参考）

カテゴリー	製品リスクや使用難易度	JTDNA 基準	過剰反応のもの
家電	操作が簡単でリスクの少ないもの	4〜12	8〜16
家電	設置工事や操作の難しいもの	8〜16	12〜32
家電	AC アダプタで使用するもの	4〜12	8〜16
組立式家具	簡単でリスクの少ないもの	2〜4	4〜8
組立式家具	複雑、重い（一人で持てない）	8〜12	12〜24
雑貨	リスクの少ないもの	1〜2	4〜8
雑貨	リスクの多いもの	4〜8	8〜12
健康機器	電気式運動用具（組立式）	8〜16	12〜24
健康器具	簡単な運動用具	2〜4	4〜8

Q&A

Q1　操作の複雑なものは JTDNA のガイドラインの 24 ページに入らない

A1　リスクを回避させるための基本操作の取扱説明書と利用ガイドを分冊化しましょう。
分冊化できない場合は、無駄な言い回しを避けわかりやすいストレートな文章にし、読む側が混乱しないように読みやすい文字、レイアウトを心がけます。

Q2　家電製品協会のガイドでは記号をすべて書かなければならないとなっている

A1　製品に表示した記号についてです。最近は普通の家電の本体表示にも一時のような記号多用をしていません。家電製品協会の表示に関するガイド第４版ではすでに内容的に矛盾が生じていて、実際に消費者にわかりやすく伝える工夫は指導されておらず、経済産業省の小売事業者の仕入れに際しての取扱説明書の記述項目などにおいても、最近は JTDNA のガイドラインに近づいています。

A2　本体表示は法律などの規制があり、法的に必要な表示義務があります。一方、取扱説明書は民間の自主的な努力によるもので、行政の民事不介入という大原則により、行政やその管理下にある団体がこの内容について強要することはできません。各事業者の努力する部分ですし、「事細かに書いてもそのことで事業者責任が回避できるということではない」というのが最新の司法判断です。

Q3　このシステムで制作してもらったものを、当社の類似品に転用したい

A1　ライター、イラストレータ、レイアウトデザイナーなど全ての当システム関係者について、成果物の著作版権について運営会社の編集著作権にて著作管理されていますので、その場合は、複製許可手続きをします。トリセツデータナビに再度登録いただき、新たな番号を取得してください。型式や一部仕様変更などの文字修正の場合は、元データ修正費用はかかりません。申請せずに転記転用すると著作権に抵触しますのでご注意ください。

Q4　自社の著作クレジットを付けたい

A1　その場合、当社のデザインテンプレートを使用しているため、当社にて著作者人格権者に改めて確認を行い許諾を得ます。その場合に於いてもその成果物はご提出いただき、その内容についてのみの許諾になります。複製禁止もしくは複製物の監視体制、著作管理などの実態の無い場合は、万一他の複製物が発覚した場合に、著作権侵害にあたる可能性がありますのでご注意ください。

Q6　このシステムにて制作してもらったのに記載漏れで事故などになった場合の責任は？

このシステムにて制作されるデータは、クライアント様の最終的な校正修正を経ています。また、民事上も実際の責任主体者の責任を他に転嫁することはできません。ただ、このシステムを運用している事業者は、極力最新の事故情報などを得て、常に改善を進めています。また、行政情報なども JTDNA 及び一般社団法人 PL 研究学会などと協力して収集し、受託作業に反映しています。

取扱説明書制作重要事項確認書

この度は、取扱説明書制作のお問い合わせありがとうございます。制作費のお見積りは、別紙にてご呈示申しあげますが、制作をお申し込みいただくにあたり、以下の重要事項をよくお読みになり、ご確認後□に レ 印（全項目）を記入いただき、「ご注文確認書類」と併せ、下記の

□ 1. お見積り費用はデザイン、レイアウト、コピー及びDTP・PDFデータ制作、トリセツデータナビ登録等の費用です。

□ 2. 挿入イラストはベクトルデータ線画(グレースケール)としています。仕上げについて、詳細表現のもの、カラーをご希望の場合は別途追加料金とします。

□ 3. 文字仮組を初回校正とし、第2校正にてイラストを仮組し、最終校正をお願いします。このため第2校正提出時にご請求・納品書をご提示申し上げます。もちろん、第２校正校了後３ヶ月以内を目処に校正を行ないますが、校正回数は期間合計3回までですのでご了承ください。

□ 4. 第２校正校了後の大幅な内容変更やそれに伴うレイアウトの変更、ページ組の変更などは別途追加料金となります。

□ 5. 家庭用生活用製品（雑貨、家具、家電製品、機械器具など）の場合制作に必要な情報を得られてから制作を開始し１～２週間以内に初回校正、３～4週間以内に第二校正校了いたします。特にお急ぎの場合は特急料金となりますので、お申し出ください。

□ 6. 資料、写真などをご提供ください。通常はサンプル預かりは不要ですが、短納期、資料不足、説明が煩雑になる場合は、当方より直接お願いしご用意いただく場合があります。

□ 7. 初回校正時までに要望している情報などが、初回校正提出後３日以内にご呈示いただけない場合は、その内容箇所を空白にして作業を進めます。

□ 8. お支払い条件などは、本書２ページ記載の通りです。ご注文確定はこの確認書返送をもって成立としますが、貴社の社内規定に基づく書式などのある場合は、事前にご呈示いただき、本書と同時にご提出ください。但し、制作案件が多数になるなど、別途条件が有る場合はご相談ください。お振込先は、納品請求時にご連絡申し上げます営業店の指定金融機関口座になります。

□ 9. 完成データは通常PCメールにPDFデータでの配信となります。プリントアウトやCD-Rでの出力をご希望の方は送料着払いにてメディア費用1,000円を別途申し受けいたします。

□ 10. 守秘義務について書面を必要とする場合は、申し込みの際にお申し出ください。

□ 11. 制作物は例外無く（C）PROCONSULTSのクレジットを付け、著作を一元管理します。詳しくは別紙「知的財産権」にてご確認ください。

12. 選択項目について（下記のボックス）に レ を記入ください。

①危険の洗い出しの表示	□JTDNAのガイドラインに則る	□自社基準（業界基準）による
②危険の洗い出しの配置	□JTDNAのガイドラインに則る	□自社基準（業界基準）による
③危険の洗い出しのイラスト	□JTDNAのガイドラインに則る	□自社基準（業界基準）による
④保証規定について	□JTDNAのガイドラインに則る	□自社基準（業界基準）による

上記内容を確認致しました。

平成　　年　　月　　日

ご署名(法人名称、住所、代表者など)

印

受付番号

製品名

型式

ご担当氏名

所属部署

電話番号

返送先FAX　03--3962-5515

©PROCONSULTS2015.10.1tdn転記転用禁止